

みなさんこんにちは (^_^) /

ある幼稚園の子どもに「運動会、何か（種目）出るの？」と聞いたところ、「おやつが出るよ」との答え。よくありがちで、笑って済ませてしまいそうな幼児の勘違いですね。しかし、これが災害時など、命を左右しかねない状況で起こってしまうとどうでしょう。

京都府宇治市にある広野幼稚園で、過去にあった出来事です。抜き打ちの火災避難訓練に備え、先生が子どもたちに「(屋内から外へ逃げるときは) 上履きのままでいい」と教えていたそうです。すると当日、園庭で遊んでいた外履きの女の子（3 歳児）が、訓練のサイレンを聞いた途端、園舎に戻って上履きに履き替えた・・・。

こうした出来事は、そもそも大人の話し方がわかりにくいから起きるのではないかと、広野幼稚園では 1989 年から、職員が意外に感じた子どもの言葉や行動を記録し続けているといます。

吉村裕園長の発案で、大人の話し方が不十分だったと判断したら、「目的語、修飾語の欠落」といった注意点も記入しています。

吉村園長は、運動会で整列した園児たちが、別の仕事で移動する目の前の先生についていってしまうなどの様子をたくさん見てきました。「ここで待っていてね、の一言があれば済むこと。保育現場で必要な『子ども目線』をしっかりと共有しようと思い当たりました」と話しています。

最近の避難訓練でも、園庭にいた十数人がサイレンを聞いて園舎に行こうとしたことがあり、「上履きのまま」を勘違いしていると思った先生が子どもたちに理由を聞いたところ、「変な人が来たときの音だと思った」と不審者対応訓練のサイレンの音と混同したという予想外の答えが返ってきたそうです。

このような記録を読み返し、様々な言動を把握することで、想像しにくい子どもたちの反応に、若手の職員でも備えることができると思います。吉村園長によると、語彙や判断力が発達途中の子どもは、自分の知識の範囲で物事を理解しがちで、大人には意外でも子どもからすれば当たり前になるとしています。

[参考・引用：平成 28 年 9 月 17 日（土）朝日新聞 はぐくむ]

こちらの予想と違った子どもの言動に、私もつい「どうしてわかってくれないんだろう？」
とってしまうことがあります。そんなときには子どもの側よりも、まずは自分自身が子
ども目線でわかりやすい話し方ができているかどうか、ふりかえってみる必要があると感
じています。【M】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉
しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられ
ます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メ
ルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば
登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索